

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成27年3月26日(2015.3.26)

【公表番号】特表2014-517595(P2014-517595A)

【公表日】平成26年7月17日(2014.7.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-038

【出願番号】特願2014-510380(P2014-510380)

【国際特許分類】

H 04 W 52/34 (2009.01)

【F I】

H 04 W 52/34

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年2月4日(2015.2.4)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無線通信の方法であって、

前の電力管理最大電力低減(P-MPR)と現在のP-MPRとの差分を判定することと、ここで、前記前のP-MPRは、前記前のP-MPRによる電力バックオフが適用されていることを示すインジケーションが通信された場合のP-MPRである。

前記差分がしきい値よりも大きく、前記現在のP-MPRが最大電力低減(MPR)と追加のMPR(A-MPR)との総和よりも大きい場合、電力ヘッドルーム・レポート(PHR)をトリガすることと、を備える方法。

【請求項2】

前記トリガすることは、前記現在のP-MPRと前記前のP-MPRとの変化がしきい値を超えており、前記前のP-MPRが最後のPHRが送信された場合のP-MPRであることに基づいて前記PHRのトリガをリプレースする、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記現在のP-MPRが、前記PHRにおいて変化したか否かと、前記変化が示された場合、前記現在のP-MPRが、前記PHRにおいてどのように変化したのかとを示すこと、をさらに備える請求項1に記載の方法。

【請求項4】

レポートされた現在の最大出力電力P_{CMAX,c}が、前記PHRにおける現在のP-MPRによって影響されるか否かを示すこと、をさらに備える請求項3に記載の方法。

【請求項5】

前記レポートされたP_{CMAX,c}が、前記現在のP-MPRによって影響されるか否かを示すことは、

前記レポートされたP_{CMAX,c}が前記現在のP-MPRによって影響されず、前記レポートされたP_{CMAX,c}が、前記現在のP-MPRによって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在のP-MPRが、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、インジケーションを提供することを備える、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記レポートされたP_{CMAX,c}が前記現在のP-MPRによって影響されるか否か

を示すことは、

前記レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が前記現在の P - MPR によって影響されず、前記レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が、前記現在の P - MPR によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の P - MPR が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、インジケーションを提供することを備える、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

前記レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が前記現在の P - MPR によって影響されるか否かを示すことは、

前記レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が前記現在の P - MPR によって影響されず、前記レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が、前記現在の P - MPR によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の P - MPR が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、インジケーションを提供することを備える、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】

前記レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が前記現在の P - MPR によって影響されるか否かを示すことは、

前記レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が前記現在の P - MPR によって影響された場合にインジケーションを提供することを備える、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 9】

前記 PHR は、拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (MAC) 制御要素を備え、前記インジケーションは、前記拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (MAC) 制御要素に含まれる、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 10】

無線通信の方法であって、

イボルブド・ノード B (eNodeB) に、電力管理最大電力低減 (P - MPR) が電力ヘッドルーム・レポート (PHR) において変化したか否かを示すことと、

前記変化が示された場合、前記 eNodeB に、前記 P - MPR が前記 PHR においてどのように変化したのかを示すことと、

レポートされた現在の最大出力電力 $P_{C_{MAX}, c}$ が前記 P - MPR によって影響されず、前記レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が、前記 P - MPR によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - MPR が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、前記レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ は、前記 PHR におけるインジケーションを設定することにより、前記 PHR における前記 P - MPR によって影響されるか否かを示すことと、

前記 eNodeB に、前記 PHR を送信することと、を備える方法。

【請求項 11】

前記インジケーションは、00 の値に設定されるフィールドである、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が、前記 P - MPR によって影響されるか否かは、前記レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が前記 P - MPR によって影響されず、前記レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が、前記 P - MPR によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - MPR が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、前記 PHR におけるインジケーションフィールドを 01 の値に設定することによって示される、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 13】

前記レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が、前記 P - MPR によって影響されるか否かは、前記レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が前記 P - MPR によって影響されず、前記レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が、前記 P - MPR によって影響を受けることを示す最後のレポート

ートから、前記 P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、前記 P H R におけるインジケーションフィールドを 10 の値に設定することによって示される、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 14】

前記レポートされた $P_{C\text{MAX},c}$ が、前記 P - M P R によって影響されるか否かは、前記レポートされた $P_{C\text{MAX},c}$ が前記 P - M P R によって影響された場合に、前記 P H R におけるインジケーションフィールドを 11 の値に設定することによって示される、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 15】

前記 P H R は、拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (M A C) 制御要素を備え、前記インジケーションは、前記拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (M A C) 制御要素に含まれる、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 16】

無線通信の方法であって、電力管理最大電力低減 (P - M P R) 値をレポートせよとの要求をイボルブド・ノード B から受信することと、

前記 P - M P R 値に関連する情報を含む電力ヘッドルーム・レポート (P H R) を送信することと、

ここで、前記 P H R は、インジケーションフィールドを含む、

ここで、前記インジケーションフィールドは、レポートされた現在の最大出力電力 $P_{C\text{MAX},c}$ が前記 P - M P R 値によって影響されず、前記レポートされた $P_{C\text{MAX},c}$ が、前記 P - M P R 値によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R 値が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、前記インジケーションフィールドは、00 の値に設定される、

ここで、前記レポートされた $P_{C\text{MAX},c}$ が前記 P - M P R 値によって影響されず、前記レポートされた $P_{C\text{MAX},c}$ が、前記 P - M P R 値によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R 値が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、前記インジケーションフィールドは、01 の値に設定される、

ここで、前記レポートされた $P_{C\text{MAX},c}$ が前記 P - M P R 値によって影響されず、前記レポートされた $P_{C\text{MAX},c}$ が、前記 P - M P R 値によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R 値が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、前記インジケーションフィールドは、10 の値に設定される、

ここで、前記レポートされた $P_{C\text{MAX},c}$ が前記 P - M P R 値によって影響を受ける場合に、前記インジケーションフィールドは、11 の値に設定される、

を備える方法。

【請求項 17】

無線通信のための装置であって、

前の電力管理最大電力低減 (P - M P R) と現在の P - M P R との差分を判定する手段と、ここで、前記前の P - M P R は、前記前の P - M P R による電力バッカオフが適用されていることを示すインジケーションが通信された場合の P - M P R である、

前記差分がしきい値よりも大きく、前記現在の P - M P R が最大電力低減 (M P R) と追加の M P R (A - M P R) との総和よりも大きい場合、電力ヘッドルーム・レポート (P H R) をトリガする手段と、を備える装置。

【請求項 18】

前記トリガする手段は、前記現在の P - M P R と前記前の P - M P R との変化がしきい値を超えており、前記前の P - M P R が最後の P H R が送信された場合の P - M P R であることに基づいて前記 P H R のトリガをリプレースする、請求項 17 に記載の装置。

【請求項 19】

前記現在の P - M P R が、前記 P H R において変化したか否かを示す手段と、前記変化が示された場合、前記現在の P - M P R が、前記 P H R においてどのように変

化したのかとを示す手段と、をさらに備える請求項17に記載の装置。

【請求項 20】

レポートされた現在の最大出力電力 $P_{C_{MAX},c}$ が、前記 P H R における現在の P - M P R によって影響されるか否かを示す手段、をさらに備える請求項19に記載の装置。

【請求項 21】

前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が前記現在の P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が、前記現在の P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、インジケーションを提供する、請求項20に記載の装置。

【請求項 22】

前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が前記現在の P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が、前記現在の P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加している場合に、インジケーションを提供する、請求項20に記載の装置。

【請求項 23】

前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が前記現在の P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が、前記現在の P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少している場合に、インジケーションを提供する、請求項20に記載の装置。

【請求項 24】

前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が前記現在の P - M P R によって影響された場合にインジケーションを提供する、請求項20に記載の装置。

【請求項 25】

前記 P H R は、拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (MAC) 制御要素を備え、前記インジケーションは、前記拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (MAC) 制御要素に含まれる、請求項19に記載の装置。

【請求項 26】

無線通信のための装置であって、

イボルブド・ノード B (e N o d e B) に、電力管理最大電力低減 (P - M P R) が電力ヘッドルーム・レポート (P H R) において変化したか否かを示す手段と、

前記変化が示された場合、前記 e N o d e B に、前記 P - M P R が前記 P H R においてどのように変化したのかを示す手段と、

レポートされた現在の最大出力電力 $P_{C_{MAX},c}$ が前記 P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が、前記 P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ は、前記 P H R におけるインジケーションを設定することにより、前記 P H R における前記 P - M P R によって影響されるか否かを示す手段と、

前記 e N o d e B に、前記 P H R を送信する手段と、を備える装置。

【請求項 27】

前記インジケーションは、00の値に設定されるフィールドである、請求項26に記載の装置。

【請求項 28】

前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が、前記 P - MPR によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が前記 P - MPR によって影響されず、前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が、前記 P - MPR によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - MPR が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、前記 PHR におけるインジケーションフィールドを 01 の値に設定する、請求項 26 に記載の装置。

【請求項 29】

前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が、前記 P - MPR によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が前記 P - MPR によって影響されず、前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が、前記 P - MPR によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - MPR が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、前記 PHR におけるインジケーションフィールドを 10 の値に設定する、請求項 26 に記載の装置。

【請求項 30】

前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が、前記 P - MPR によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が前記 P - MPR によって影響された場合に前記 PHR におけるインジケーションフィールドを 11 の値に設定する、請求項 26 に記載の装置。

【請求項 31】

前記 PHR は、拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (MAC) 制御要素を備え、前記インジケーションは、前記拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (MAC) 制御要素に含まれる、請求項 26 に記載の装置。

【請求項 32】

無線通信のための装置であって、

電力管理最大電力低減 (P - MPR) 値をレポートせよとの要求をイボルブド・ノード B から受信する手段と、

前記 P - MPR 値に関連する情報を含む電力ヘッドルーム・レポート (PHR) を送信する手段と、

ここで、前記 PHR は、インジケーションフィールドを含む、

ここで、前記インジケーションフィールドは、レポートされた現在の最大出力電力 $P_{C_{MAX},c}$ が前記 P - MPR 値によって影響されず、前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が、前記 P - MPR 値によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - MPR 値が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、前記インジケーションフィールドは、00 の値に設定される、

ここで、前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が前記 P - MPR 値によって影響されず、前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が、前記 P - MPR 値によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - MPR 値が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、前記インジケーションフィールドは、01 の値に設定される、

ここで、前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が前記 P - MPR 値によって影響されず、前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が、前記 P - MPR 値によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - MPR 値が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、前記インジケーションフィールドは、10 の値に設定される、

ここで、前記レポートされた $P_{C_{MAX},c}$ が前記 P - MPR 値によって影響を受ける場合に、前記インジケーションフィールドは、11 の値に設定される、を備える装置。

【請求項 33】

無線通信のための装置であって、

少なくとも 1 つのプロセッサと、

前記少なくとも 1 つのプロセッサに接続されたメモリとを備え、

前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前の電力管理最大電力低減 (P - MPR) と現在の P - MPR との差分を判定すること

と、ここで、前記前のP-MPRは、前記前のP-MPRによる電力バックオフが適用されていることを示すインジケーションが通信された場合のP-MPRである。

前記差分がしきい値よりも大きく、前記現在のP-MPRが最大電力低減(MPR)と追加のMPR(A-MPR)との総和よりも大きい場合、電力ヘッドルーム・レポート(PHR)をトリガすることと、を実行するように構成された、装置。

【請求項34】

前記トリガすることは、前記現在のP-MPRと前記前のP-MPRとの変化がしきい値を超えており、前記前のP-MPRが最後のPHRが送信された場合のP-MPRであることに基づいて前記PHRのトリガをリプレースする、請求項3_3に記載の装置。

【請求項35】

前記少なくとも1つのプロセッサはさらに、

前記現在のP-MPRが、前記PHRにおいて変化したか否かを示すことと、

前記変化が示された場合、前記現在のP-MPRが、前記PHRにおいてどのように変化したのかとを示すことと、を実行するように構成された、請求項3_3に記載の装置。

【請求項36】

前記少なくとも1つのプロセッサはさらに、レポートされた現在の最大出力電力 $P_{CMAX,c}$ が、前記PHRにおける現在のP-MPRによって影響されるか否かを示すこと、をさらに実行するように構成された、請求項3_5に記載の装置。

【請求項37】

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記現在のP-MPRによって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも1つのプロセッサは、

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が前記現在のP-MPRによって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記現在のP-MPRによって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在のP-MPRが、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、インジケーションを提供するように構成された、請求項3_6に記載の装置。

【請求項38】

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記現在のP-MPRによって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも1つのプロセッサは、

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が前記現在のP-MPRによって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記現在のP-MPRによって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在のP-MPRが、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、インジケーションを提供するように構成された、請求項3_6に記載の装置。

【請求項39】

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記現在のP-MPRによって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも1つのプロセッサは、

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が前記現在のP-MPRによって影響されず、前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記現在のP-MPRによって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在のP-MPRが、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、インジケーションを提供するように構成された、請求項3_6に記載の装置。

【請求項40】

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が、前記現在のP-MPRによって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも1つのプロセッサは、

前記レポートされた $P_{CMAX,c}$ が前記現在のP-MPRによって影響された場合にインジケーションを提供するように構成された、請求項3_6に記載の装置。

【請求項41】

前記PHRは、拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御(MAC)制御要素を備え、前記インジケーションは、前記拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御(MAC)制御要素

に含まれる、請求項3_5に記載の装置。

【請求項 4_2】

無線通信のための装置であって、
少なくとも1つのプロセッサと、
前記少なくとも1つのプロセッサに接続されたメモリとを備え、
前記少なくとも1つのプロセッサは、
イボルブド・ノードB(eNodeB)に、電力管理最大電力低減(P-MPR)が電力ヘッドルーム・レポート(PHR)において変化したか否かを示すことと、
前記変化が示された場合、前記eNodeBに、前記P-MPRが前記PHRにおいてどのように変化したのかを示すことと、

レポートされた現在の最大出力電力P_{cMAX,c}が前記P-MPRによって影響されず、前記レポートされたP_{cMAX,c}が、前記P-MPRによって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記P-MPRが、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、前記レポートされたP_{cMAX,c}は、前記PHRにおけるインジケーションを設定することにより、前記PHRにおける前記P-MPRによって影響されるか否かを示すことと、

前記eNodeBに、前記PHRを送信することと、を実行するように構成された、装置。

【請求項 4_3】

前記インジケーションは、00の値に設定されるフィールドである、、請求項4_2に記載の装置。

【請求項 4_4】

前記レポートされたP_{cMAX,c}が、前記P-MPRによって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも1つのプロセッサは、

前記レポートされたP_{cMAX,c}が前記P-MPRによって影響されず、前記レポートされたP_{cMAX,c}が、前記P-MPRによって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記P-MPRが、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、前記PHRにおけるインジケーションフィールドを01の値に設定するように構成された、請求項4_2に記載の装置。

【請求項 4_5】

前記レポートされたP_{cMAX,c}が、前記P-MPRによって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも1つのプロセッサは、

前記レポートされたP_{cMAX,c}が前記P-MPRによって影響されず、前記レポートされたP_{cMAX,c}が、前記P-MPRによって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記P-MPRが、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、前記PHRにおけるインジケーションフィールドを10の値に設定するように構成された、請求項4_2に記載の装置。

【請求項 4_6】

前記レポートされたP_{cMAX,c}が、前記P-MPRによって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも1つのプロセッサは、前記レポートされたP_{cMAX,c}が前記現在のP-MPRによって影響された場合に、前記PHRにおけるインジケーションフィールドを11の値に設定するように構成された、請求項4_2に記載の装置。

【請求項 4_7】

前記PHRは、拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御(MAC)制御要素を備え、前記インジケーションは、前記拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御(MAC)制御要素に含まれる、請求項4_2に記載の装置。

【請求項 4_8】

無線通信のための装置であって、
少なくとも1つのプロセッサと、
前記少なくとも1つのプロセッサに接続されたメモリとを備え、

前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

電力管理最大電力低減 (P - M P R) 値をレポートせよとの要求をイボルブド・ノード B から受信することと、

前記 P - M P R 値に関連する情報を含む電力ヘッドルーム・レポート (P H R) を送信することと、

ここで、前記 P H R は、インジケーションフィールドを含む、

ここで、前記インジケーションフィールドは、レポートされた現在の最大出力電力 $P_{c_{MAX_c}}$ が前記 P - M P R 値によって影響されず、前記レポートされた $P_{c_{MAX_c}}$ が、前記 P - M P R 値によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R 値が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、前記インジケーションフィールドは、00 の値に設定される、

ここで、前記レポートされた $P_{c_{MAX_c}}$ が前記 P - M P R 値によって影響されず、前記レポートされた $P_{c_{MAX_c}}$ が、前記 P - M P R 値によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R 値が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、前記インジケーションフィールドは、01 の値に設定される、

ここで、前記レポートされた $P_{c_{MAX_c}}$ が前記 P - M P R 値によって影響されず、前記レポートされた $P_{c_{MAX_c}}$ が、前記 P - M P R 値によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R 値が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、前記インジケーションフィールドは、10 の値に設定される、

ここで、前記レポートされた $P_{c_{MAX_c}}$ が前記 P - M P R 値によって影響を受ける場合に、前記インジケーションフィールドは、11 の値に設定される、
を実行するように構成された、装置。

【請求項 4 9】

前の電力管理最大電力低減 (P - M P R) と現在の P - M P R との差分を判定することと、ここで、前記前の P - M P R は、前記前の P - M P R による電力バックオフが適用されていることを示すインジケーションが通信された場合の P - M P R である、

前記差分がしきい値よりも大きく、前記現在の P - M P R が最大電力低減 (M P R) と追加の M P R (A - M P R) との総和よりも大きい場合、電力ヘッドルーム・レポート (P H R) をトリガすることと、をコンピュータに実行させるためのコードを記憶したコンピュータ読取可能な記憶媒体。

【請求項 5 0】

イボルブド・ノード B (e N o d e B) に、電力管理最大電力低減 (P - M P R) が電力ヘッドルーム・レポート (P H R) において変化したか否かを示すことと、

前記変化が示された場合、前記 e N o d e B に、前記 P - M P R が前記 P H R においてどのように変化したのかを示すことと、

レポートされた現在の最大出力電力 $P_{c_{MAX_c}}$ が前記 P - M P R によって影響されず、前記レポートされた $P_{c_{MAX_c}}$ が、前記 P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、前記レポートされた $P_{c_{MAX_c}}$ は、前記 P H R におけるインジケーションを設定することにより、前記 P H R における前記 P - M P R によって影響されるか否かを示すことと、

前記 e N o d e B に、前記 P H R を送信することと、をコンピュータに実行させるためのコードを記憶したコンピュータ読取可能な記憶媒体。

【請求項 5 1】

前記インジケーションは、00 の値に設定されるフィールドである、請求項 5 0 に記載のコンピュータ読取可能な記憶媒体。

【請求項 5 2】

電力管理最大電力低減 (P - M P R) 値をレポートせよとの要求をイボルブド・ノード B から受信することと、

前記 P - M P R 値に関連する情報を含む電力ヘッドルーム・レポート (P H R) を送信

することと、

ここで、前記 P H R は、インジケーションフィールドを含む、

ここで、前記インジケーションフィールドは、レポートされた現在の最大出力電力 P_{c_{MAX}} が前記 P - M P R 値によって影響されず、前記レポートされた P_{c_{MAX}} が、前記 P - M P R 値によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R 値が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、前記インジケーションフィールドは、0 0 の値に設定される、

ここで、前記レポートされた P_{c_{MAX}} が前記 P - M P R 値によって影響されず、前記レポートされた P_{c_{MAX}} が、前記 P - M P R 値によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R 値が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、前記インジケーションフィールドは、0 1 の値に設定される、

ここで、前記レポートされた P_{c_{MAX}} が前記 P - M P R 値によって影響されず、前記レポートされた P_{c_{MAX}} が、前記 P - M P R 値によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R 値が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、前記インジケーションフィールドは、1 0 の値に設定される、

ここで、前記レポートされた P_{c_{MAX}} が前記 P - M P R 値によって影響を受ける場合に、前記インジケーションフィールドは、1 1 の値に設定される、

をコンピュータに実行させるためのコードを記憶したコンピュータ読取可能な記憶媒体。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 6 5】

1つの構成では、UEはまた、現在のP - M P RがP H Rにおいて変化しているか否か、および、現在のP - M P RがP H Rにおいてどのように変化したかをも示しうる。UEはまた、レポートされた現在の最大出力電力P_{c_{MAX}}が、P H Rにおける現在のP - M P Rによって影響されるか否かをも示しうる。例えば、レポートされたP_{c_{MAX}}が現在のP - M P Rによって影響されず、レポートされたP_{c_{MAX}}が、現在のP - M P Rによって影響を受けることを示す最後のレポートから、現在のP - M P Rが、ダウンリンク経路喪失変化しきい値（すなわち、d l - p a t h l o s s C h a n g e）以上まで増加も減少もしていない場合に、インジケーションを提供することによって、UEは、レポートされたP_{c_{MAX}}が現在のP - M P Rによって影響されるか否かを示しうる。表1のP I フィールド“0 0”を参照されたい。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 6 6】

別の例において、レポートされたP_{c_{MAX}}が現在のP - M P Rによって影響されず、レポートされたP_{c_{MAX}}が、現在のP - M P Rによって影響を受けることを示す最後のレポートから、現在のP - M P Rが、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、インジケーションを提供することによって、UEは、レポートされたP_{c_{MAX}}が現在のP - M P Rによって影響されるか否かを示しうる。表1のP I フィールド“0 1”を参照されたい。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】**【0067】**

さらなる例において、レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が現在の P-MPR によって影響されず、レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が、現在の P-MPR によって影響を受けることを示す最後のレポートから、現在の P-MPR が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、インジケーションを提供することによって、UEは、レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が現在の P-MPR によって影響されるか否かを示しうる。（表1のPIフィールド“10”を参照されたい）。

【誤訳訂正5】**【訂正対象書類名】明細書****【訂正対象項目名】0070****【訂正方法】変更****【訂正の内容】****【0070】**

例えば、レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が現在の P-MPR によって影響されず、レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が、P-MPR によって影響を受けることを示す最後のレポートから、P-MPR が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、インジケーションを提供することによって、UEは、レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が P-MPR によって影響されるか否かを示しうる。表1のPIフィールド“00”を参照されたい。

【誤訳訂正6】**【訂正対象書類名】明細書****【訂正対象項目名】0071****【訂正方法】変更****【訂正の内容】****【0071】**

別の例において、レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が P-MPR によって影響されず、レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が、P-MPR によって影響を受けることを示す最後のレポートから、P-MPR が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、インジケーションを提供することによって、UEは、レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が P-MPR によって影響されるか否かを示しうる。表1のPIフィールド“01”を参照されたい。

【誤訳訂正7】**【訂正対象書類名】明細書****【訂正対象項目名】0072****【訂正方法】変更****【訂正の内容】****【0072】**

さらなる例では、レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が P-MPR によって影響されず、レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が、P-MPR によって影響を受けることを示す最後のレポートから、P-MPR が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、インジケーションを提供することによって、UEは、レポートされた $P_{C_{MAX}, c}$ が P-MPR によって影響されるか否かを示しうる。表1のPIフィールド“10”を参照されたい。

【誤訳訂正8】**【訂正対象書類名】明細書****【訂正対象項目名】0084****【訂正方法】変更****【訂正の内容】****【0084】**

本開示の上記記載は、当業者をして、本開示の製造または利用を可能とするように提供される。本開示に対するさまざまな変形は、当業者に容易に明らかであって、本明細書で定義された一般原理は、本開示の精神または範囲から逸脱することなく、他のバリエーションに適用されうる。このように、本開示は、本明細書で示された例および設計に限定されることは意図されておらず、本明細書で開示された原理および新規な特徴に一致した最も広い範囲に相当するとされている。

以下に、出願当初の発明を付記する。

[C 1]

無線通信の方法であって、

前の電力管理最大電力低減（P - M P R）と現在のP - M P Rとの差分を判定することと、ここで、前記前のP - M P Rは、前記前のP - M P Rによる電力バックオフが適用されていることを示すインジケーションが通信された場合のP - M P Rである、

前記差分がしきい値よりも大きく、前記現在のP - M P Rが最大電力低減（M P R）と追加のM P R（A - M P R）との総和よりも大きい場合、電力ヘッドルーム・レポート（P H R）をトリガすることと、を備える方法。

[C 2]

前記トリガすることは、前記現在のP - M P Rと前のP - M P Rとの変化がしきい値を超えており、前記前のP - M P Rが最後のP H Rが送信された場合のP - M P Rであることに基づいて前記P H Rのトリガをリプレースする、C 1に記載の方法。

[C 3]

前記現在のP - M P Rが、前記P H Rにおいて変化したか否かと、前記変化が示された場合、前記現在のP - M P Rが、前記P H Rにおいてどのように変化したのかとを示すこと、をさらに備えるC 1に記載の方法。

[C 4]

レポートされた現在の最大出力電力P_{C M A X . c}が、前記P H Rにおける現在のP - M P Rによって影響されるか否かを示すこと、をさらに備えるC 3に記載の方法。

[C 5]

前記レポートされたP_{C M A X . c}が、前記現在のP - M P Rによって影響されるか否かを示すこと、

前記レポートされたP_{C M A X . c}が前記現在のP - M P Rによって影響されず、前記レポートされたP_{C M A X . c}が、前記現在のP - M P Rによって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在のP - M P Rが、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、インジケーションを提供することを備える、C 4に記載の方法。

[C 6]

前記レポートされたP_{C M A X . c}が前記現在のP - M P Rによって影響されるか否かを示すこと、

前記レポートされたP_{C M A X . c}が前記現在のP - M P Rによって影響されず、前記レポートされたP_{C M A X . c}が、前記現在のP - M P Rによって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在のP - M P Rが、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、インジケーションを提供することを備える、C 4に記載の方法。

[C 7]

前記レポートされたP_{C M A X . c}が前記現在のP - M P Rによって影響されるか否かを示すこと、

前記レポートされたP_{C M A X . c}が前記現在のP - M P Rによって影響されず、前記レポートされたP_{C M A X . c}が、前記現在のP - M P Rによって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在のP - M P Rが、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、インジケーションを提供することを備える、C 4に記載の方法。

[C 8]

前記レポートされたP_{C M A X . c}が前記現在のP - M P Rによって影響されるか否か

を示すことは、

前記レポートされた $P_{C_{MAX_c}}$ が前記現在の P - MPR によって影響された場合にインジケーションを提供することを備える、C 4 に記載の方法。

[C 9]

前記 PHR は、拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (MAC) 制御要素を備え、前記インジケーションは、前記拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (MAC) 制御要素に含まれる、C 3 に記載の方法。

[C 10]

無線通信の方法であって、

電力管理最大電力低減 (P - MPR) が電力ヘッドルーム・レポート (PHR) において変化したか否かを示すことと、

前記変化が示された場合、前記電力管理最大電力低減 (P - MPR) が前記電力ヘッドルーム・レポート (PHR) においてどのように変化したのかを示すことと、

前記 PHR を送信することと、を備える方法。

[C 11]

レポートされた現在の最大出力電力 $P_{C_{MAX_c}}$ が、前記 PHR における前記 P - MPR によって影響されるか否かを示すこと、をさらに備える C 10 に記載の方法。

[C 12]

前記レポートされた $P_{C_{MAX_c}}$ が、前記 P - MPR によって影響されるか否かを示すことは、

前記レポートされた $P_{C_{MAX_c}}$ が前記 P - MPR によって影響されず、前記レポートされた $P_{C_{MAX_c}}$ が、前記 P - MPR によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - MPR が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、インジケーションを提供することを備える C 11 に記載の方法。

[C 13]

前記レポートされた $P_{C_{MAX_c}}$ が、前記 P - MPR によって影響されるか否かを示すことは、

前記レポートされた $P_{C_{MAX_c}}$ が前記 P - MPR によって影響されず、前記レポートされた $P_{C_{MAX_c}}$ が、前記 P - MPR によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - MPR が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、インジケーションを提供することを備える、C 11 に記載の方法。

[C 14]

前記レポートされた $P_{C_{MAX_c}}$ が、前記 P - MPR によって影響されるか否かを示すことは、

前記レポートされた $P_{C_{MAX_c}}$ が前記 P - MPR によって影響されず、前記レポートされた $P_{C_{MAX_c}}$ が、前記 P - MPR によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - MPR が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、インジケーションを提供することを備える、C 11 に記載の方法。

[C 15]

前記レポートされた $P_{C_{MAX_c}}$ が、前記 P - MPR によって影響されるか否かを示すことは、

前記レポートされた $P_{C_{MAX_c}}$ が前記 P - MPR によって影響された場合にインジケーションを提供することを備える、C 11 に記載の方法。

[C 16]

前記 PHR は、拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (MAC) 制御要素を備え、前記インジケーションは、前記拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (MAC) 制御要素に含まれる、C 10 に記載の方法。

[C 17]

無線通信の方法であって、

電力管理最大電力低減 (P - MPR) をレポートせよとの要求をイボルブド・ノード B

から受信することと、

前記 P - M P R に関する情報を含む電力ヘッドルーム・レポート(P H R)を送信することと、を備える方法。

[C 1 8]

無線通信のための装置であつて、

前の電力管理最大電力低減(P - M P R)と現在の P - M P R との差分を判定する手段と、ここで、前記前の P - M P R は、前記前の P - M P R による電力バックオフが適用されていることを示すインジケーションが通信された場合の P - M P R である、

前記差分がしきい値よりも大きく、前記現在の P - M P R が最大電力低減(M P R)と追加の M P R (A - M P R)との総和よりも大きい場合、電力ヘッドルーム・レポート(P H R)をトリガする手段と、を備える装置。

[C 1 9]

前記トリガする手段は、前記現在の P - M P R と前の P - M P R との変化がしきい値を超えており、前記前の P - M P R が最後の P H R が送信された場合の P - M P R であることに基づいて前記 P H R のトリガをリプレースする、C 1 8 に記載の装置。

[C 2 0]

前記現在の P - M P R が、前記 P H R において変化したか否かを示す手段と、

前記変化が示された場合、前記現在の P - M P R が、前記 P H R においてどのように変化したのかとを示す手段と、をさらに備える C 1 8 に記載の装置。

[C 2 1]

レポートされた現在の最大出力電力 P_{C MAX,c} が、前記 P H R における現在の P - M P R によって影響されるか否かを示す手段、をさらに備える C 2 0 に記載の装置。

[C 2 2]

前記レポートされた P_{C MAX,c} が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた P_{C MAX,c} が前記現在の P - M P R によって影響されず、前記レポートされた P_{C MAX,c} が、前記現在の P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、インジケーションを提供する、C 2 1 に記載の装置。

[C 2 3]

前記レポートされた P_{C MAX,c} が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた P_{C MAX,c} が前記現在の P - M P R によって影響されず、前記レポートされた P_{C MAX,c} が、前記現在の P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加している場合に、インジケーションを提供する、C 2 1 に記載の装置。

[C 2 4]

前記レポートされた P_{C MAX,c} が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた P_{C MAX,c} が前記現在の P - M P R によって影響されず、前記レポートされた P_{C MAX,c} が、前記現在の P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少している場合に、インジケーションを提供する、C 2 1 に記載の装置。

[C 2 5]

前記レポートされた P_{C MAX,c} が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされた P_{C MAX,c} が前記現在の P - M P R によって影響された場合にインジケーションを提供する、C 2 1 に記載の装置。

[C 2 6]

前記 P H R は、拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御(M A C)制御要素を備え、前記インジケーションは、前記拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御(M A C)制御要素

に含まれる、C 2 0 に記載の装置。

[C 2 7]

無線通信のための装置であつて、

電力管理最大電力低減（P - M P R）が電力ヘッドルーム・レポート（P H R）において変化したか否かを示す手段と、

前記変化が示された場合、前記電力管理最大電力低減（P - M P R）が前記電力ヘッドルーム・レポート（P H R）においてどのように変化したのかを示す手段と、

前記P H Rを送信する手段と、を備える装置。

[C 2 8]

レポートされた現在の最大出力電力P_{C MAX,c}が、前記P H Rにおける前記P - M P Rによって影響されるか否かを示す手段、をさらに備えるC 2 7 に記載の装置。

[C 2 9]

前記レポートされたP_{C MAX,c}が、前記P - M P Rによって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされたP_{C MAX,c}が前記P - M P Rによって影響されず、前記レポートされたP_{C MAX,c}が、前記P - M P Rによって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記P - M P Rが、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、インジケーションを提供する、C 2 8 に記載の装置。

[C 3 0]

前記レポートされたP_{C MAX,c}が、前記P - M P Rによって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされたP_{C MAX,c}が前記P - M P Rによって影響されず、前記レポートされたP_{C MAX,c}が、前記P - M P Rによって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記P - M P Rが、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、インジケーションを提供する、C 2 8 に記載の装置。

[C 3 1]

前記レポートされたP_{C MAX,c}が、前記P - M P Rによって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされたP_{C MAX,c}が前記P - M P Rによって影響されず、前記レポートされたP_{C MAX,c}が、前記P - M P Rによって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記P - M P Rが、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、インジケーションを提供する、C 2 8 に記載の装置。

[C 3 2]

前記レポートされたP_{C MAX,c}が、前記P - M P Rによって影響されるか否かを示す手段は、前記レポートされたP_{C MAX,c}が前記P - M P Rによって影響された場合にインジケーションを提供する、C 2 8 に記載の装置。

[C 3 3]

前記P H Rは、拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御（M A C）制御要素を備え、前記インジケーションは、前記拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御（M A C）制御要素に含まれる、C 2 7 に記載の装置。

[C 3 4]

無線通信のための装置であつて、

電力管理最大電力低減（P - M P R）をレポートせよとの要求をイボルブド・ノードBから受信する手段と、

前記P - M P Rに関連する情報を含む電力ヘッドルーム・レポート（P H R）を送信する手段と、を備える装置。

[C 3 5]

無線通信のための装置であつて、

少なくとも1つのプロセッサと、

前記少なくとも1つのプロセッサに接続されたメモリとを備え、

前記少なくとも1つのプロセッサは、

前の電力管理最大電力低減（P - M P R）と現在のP - M P Rとの差分を判定することと、ここで、前記前のP - M P Rは、前記前のP - M P Rによる電力バックオフが適用さ

れていますことを示すインジケーションが通信された場合の P - M P R である、

前記差分がしきい値よりも大きく、前記現在の P - M P R が最大電力低減 (M P R) と追加の M P R (A - M P R)との総和よりも大きい場合、電力ヘッドルーム・レポート (P H R) をトリガすることと、を実行するように構成された、装置。

[C 3 6]

前記トリガすることは、前記現在の P - M P R と前の P - M P R との変化がしきい値を超えており、前記前の P - M P R が最後の P H R が送信された場合の P - M P R であることに基づいて前記 P H R のトリガをリプレースする、C 3 5 に記載の装置。

[C 3 7]

前記少なくとも 1 つのプロセッサはさらに、

前記現在の P - M P R が、前記 P H R において変化したか否かを示すことと、

前記変化が示された場合、前記現在の P - M P R が、前記 P H R においてどのように変化したのかとを示すことと、を実行するように構成された、C 3 5 に記載の装置。

[C 3 8]

前記少なくとも 1 つのプロセッサはさらに、レポートされた現在の最大出力電力 P_{C M A X . c} が、前記 P H R における現在の P - M P R によって影響されるか否かを示すこと、をさらに実行するように構成された、C 3 7 に記載の装置。

[C 3 9]

前記レポートされた P_{C M A X . c} が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前記レポートされた P_{C M A X . c} が前記現在の P - M P R によって影響されず、前記レポートされた P_{C M A X . c} が、前記現在の P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、インジケーションを提供するように構成された、C 3 8 に記載の装置。

[C 4 0]

前記レポートされた P_{C M A X . c} が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前記レポートされた P_{C M A X . c} が前記現在の P - M P R によって影響されず、前記レポートされた P_{C M A X . c} が、前記現在の P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、インジケーションを提供するように構成された、C 3 8 に記載の装置。

[C 4 1]

前記レポートされた P_{C M A X . c} が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前記レポートされた P_{C M A X . c} が前記現在の P - M P R によって影響されず、前記レポートされた P_{C M A X . c} が、前記現在の P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記現在の P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、インジケーションを提供するように構成された、C 3 8 に記載の装置。

[C 4 2]

前記レポートされた P_{C M A X . c} が、前記現在の P - M P R によって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前記レポートされた P_{C M A X . c} が前記現在の P - M P R によって影響された場合にインジケーションを提供するように構成された、C 3 8 に記載の装置。

[C 4 3]

前記 P H R は、拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (M A C) 制御要素を備え、前記インジケーションは、前記拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御 (M A C) 制御要素に含まれる、C 3 7 に記載の装置。

[C 4 4]

無線通信のための装置であって、
少なくとも 1 つのプロセッサと、
前記少なくとも 1 つのプロセッサに接続されたメモリとを備え、
前記少なくとも 1 つのプロセッサは、
電力管理最大電力低減（P - M P R）が電力ヘッドルーム・レポート（P H R）において変化したか否かを示すことと、
前記変化が示された場合、前記電力管理最大電力低減（P - M P R）が前記電力ヘッドルーム・レポート（P H R）においてどのように変化したのかを示すことと、
前記 P H R を送信することと、を実行するように構成された、装置。

[C 4 5]

前記少なくとも 1 つのプロセッサはさらに、レポートされた現在の最大出力電力 P_{C M A X . c} が、前記 P H R における前記 P - M P R によって影響されるか否かを示すように構成された、C 4 4 に記載の装置。

[C 4 6]

前記レポートされた P_{C M A X . c} が、前記 P - M P R によって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、
前記レポートされた P_{C M A X . c} が前記 P - M P R によって影響されず、前記レポートされた P_{C M A X . c} が、前記 P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加も減少もしていない場合に、インジケーションを提供するように構成された、C 4 5 に記載の装置。

[C 4 7]

前記レポートされた P_{C M A X . c} が、前記 P - M P R によって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、
前記レポートされた P_{C M A X . c} が前記 P - M P R によって影響されず、前記レポートされた P_{C M A X . c} が、前記 P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで増加した場合に、インジケーションを提供するように構成された、C 4 5 に記載の装置。

[C 4 8]

前記レポートされた P_{C M A X . c} が、前記 P - M P R によって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、
前記レポートされた P_{C M A X . c} が前記 P - M P R によって影響されず、前記レポートされた P_{C M A X . c} が、前記 P - M P R によって影響を受けることを示す最後のレポートから、前記 P - M P R が、ダウンリンク経路喪失変化しきい値以上まで減少した場合に、インジケーションを提供するように構成された、C 4 5 に記載の装置。

[C 4 9]

前記レポートされた P_{C M A X . c} が、前記 P - M P R によって影響されるか否かを示すために、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、前記レポートされた P_{C M A X . c} が前記現在の P - M P R によって影響された場合にインジケーションを提供するように構成された、C 4 5 に記載の装置。

[C 5 0]

前記 P H R は、拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御（M A C）制御要素を備え、前記インジケーションは、前記拡張電力ヘッドルーム媒体アクセス制御（M A C）制御要素に含まれる、C 4 4 に記載の装置。

[C 5 1]

無線通信のための装置であって、
少なくとも 1 つのプロセッサと、
前記少なくとも 1 つのプロセッサに接続されたメモリとを備え、
前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

電力管理最大電力低減（P-MPR）をレポートせよとの要求をイボルブド・ノードBから受信することと、

前記P-MPRに関連する情報を含む電力ヘッドルーム・レポート（PHR）を送信することと、を実行するように構成された、装置。

[C 5 2]

コンピュータ・プログラム製品であって、

前の電力管理最大電力低減（P-MPR）と現在のP-MPRとの差分を判定することと、ここで、前記前のP-MPRは、前記前のP-MPRによる電力バックオフが適用されていることを示すインジケーションが通信された場合のP-MPRである、

前記差分がしきい値よりも大きく、前記現在のP-MPRが最大電力低減（MPR）と追加のMPR（A-MPR）との総和よりも大きい場合、電力ヘッドルーム・レポート（PHR）をトリガすることと、そのためのコードを備えるコンピュータ読取可能な媒体を備える、コンピュータ・プログラム製品。

[C 5 3]

コンピュータ・プログラム製品であって、

電力管理最大電力低減（P-MPR）が電力ヘッドルーム・レポート（PHR）において変化したか否かを示すことと、

前記変化が示された場合、前記電力管理最大電力低減（P-MPR）が前記電力ヘッドルーム・レポート（PHR）においてどのように変化したのかを示すことと、

前記PHRを送信することと、そのためのコードを備えるコンピュータ読取可能な媒体を備える、コンピュータ・プログラム製品。

[C 5 4]

コンピュータ・プログラム製品であって、

電力管理最大電力低減（P-MPR）をレポートせよとの要求をイボルブド・ノードBから受信することと、

前記P-MPRに関連する情報を含む電力ヘッドルーム・レポート（PHR）を送信することと、そのためのコードを備えるコンピュータ読取可能な媒体を備える、コンピュータ・プログラム製品。